

厚生労働省老健局認知症施策推進室へご挨拶に行ってきました！

2019年度の社員総会を経て、being 代表であり一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワークの副代表に就任した工藤美奈子さんのご紹介と室長補佐にご就任された加藤英樹様へのご挨拶を兼ねて、厚生労働省老健局認知症施策推進室へ6月11日火曜日にのご挨拶に行ってきました。その様子をお知らせします。

宮島理事:本日はありがとうございます。今年度 being の代表が変わりまして、ご挨拶で参りました。工藤です。

工藤理事:工藤美奈子と申します。

宮島理事:森さんと同じ九州なんですけれども、大分です。

工藤理事:はい。大分県の指導者です。

宮島理事:資料をお持ちしました。うちの定款とかです。いろいろと把握されてはいると思うんですが、長野県でも指導者研修の募集を毎年2名しているんですが、今年は1名しか集まりません。それで……なかなか長時間職場を空けるっていう事が難しくなっています。

田中室長:まあ、そうですね。

宮島理事:リーダー研修を終了した人の中から、それなりの方を施設の方とか、ご本人に確認しているんですけど、本人は行きたいんだけど、なかなか所属の方からOKが出なかったりとか…

佐々木理事:指導者の周知がまだまだ不十分です。2~3年前から指導者の実践事例集も作って…そういう努力はしているんですが、指導者の活用は市町村任せのところも多いのかなって思っています。我々仙台で言えば、認知症対策推進会議の委員をやっているんですけど、そのような会議に入れているところと、入れていないところがあって、施策に関わっていれば、指導者の力も発揮しながら認知症施策だったり、認知症研修とかはそれなりに良くできていると思うんですけれども、都道府県、市町村によって随分差があるかなって…

田中室長:各自治体は講師の確保に困っていないってことですかね？

佐々木理事:指導者をやっていない人も多く、逆に大変です。昔は一本釣りが多かったですよ。この頃は、公募してもなかなか名前が上がってこないんですよ。都道府県、政令都市によっては、せっかく研修をやっても、この人指導者に向いてるなっていう人もいるんですけど、吸い上げてくれるところと、全く関係ないっていう所もあって。法人の理解度もありますし、逆に事業所推薦ってことで、自分の法人にメリットがあるってことで出してくる所もあるので、指導者も昔ほど一定ではありません。

田中室長:貴重な人材なんですけどね。

宮島理事:うちも最近くるみマークってあるじゃないですか。あれを取ったんですよ。

田中室長:スタッフは見るんじゃないですか？学生とか見るんじゃないですか？

宮島理事:そうですね。今度名刺に入れようって話をしているんですけど、同じような感じで、認知症の研修に真剣に取り組んでいるマークみたいなものを作ると、もしかすると…

田中室長:人材育成をしっかりとってくれる事業所っていうメッセージとはなりますよね。

宮島理事:センターさんへは、今日厚労省へおじゃますることもお話ししていますし、我々はセンターと一緒に活動していきたいと思っています。センター長さんや事務部長さんとも意見交換したりしていきたいと思っています。全く別物として活動しているわけではないので、ご理解して頂ければと思います。本日はありがとうございました。



【写真】左より 認知症施策推進室長田中規倫氏、室長補佐加藤英樹氏、全国ネット会長宮島渡氏、副会長佐々木薫氏、副会長工藤美奈子氏
当日は田中室長は大綱の大詰めという事でご多忙のためご不在とのことでしたが、およそ30分ほどの間ご同席頂きました。